



より良い医療の提供を目指して 診療体制を強化します

問 市民病院医事経営課 ☎48-5050

4月から、市民病院では診療体制のさらなる強化のために、医師の増員を行いました。その中でも、消化器内科と脳神経外科は長らく常勤医師が1人で、一部の診療で制限が生じていましたが、今回1人ずつ増員を行いました。また、救急外来には新しく専門医を配置して、迅速で適切な治療が行えるように体制を整備しました。消化器内科、脳神経外科、救急外来で新しく赴任した医師を紹介します。



山本 怜 (消化器内科)



Q 先生はどんな人？

A 刈谷豊田総合病院で約6年、大垣市民病院で約3年経験を積んできました。内視鏡がやりたくて消化器内科を選びました。いずれ父の後を継いで開業することを目標にしています。

Q 碧南市、市民病院の印象は？

A 明石公園や臨海公園で遊んだり、名鉄碧南駅は通学で利用していたり、色々思い出のある街です。穏やかな土地で、優しい方が多い印象です。

Q 休日の過ごし方は？

A 昼間は子どもの相手、夜はウォーキングや筋トレなど体を動かして、TVや映画を見ながら晩酌することが多いです。

Q 市民の皆さんへのメッセージ

A 消化器内科は消化管、肝臓、胆のう、すい臓に関わる多くの疾患をカバーしており、一見お腹とは関係ないような症状でも、消化器内科疾患と関連する症状の可能性があります。気になる症状があれば一度相談してください。また、内視鏡手術による早期がんの治療にも積極的に取り組んでいきます。そのためには早期発見が重要となるので、定期的な内視鏡検査をお願いします。



Q 先生はどんな人？

A 子どもの頃に難病医療に取り組む医師の記事を読み医師を志しました。名古屋大学医学部在学中に難治性腫瘍である悪性神経膠腫の存在と神経疾患特有の苦悩を知り、脳神経外科、特に脳腫瘍治療の研究へ進むことを決めました。

Q 碧南市、市民病院の印象は？

A これまで勤務してきた公立病院、総合病院と比べても抜群に小回りが効く病院だと感じています。患者さんそれぞれの病状やご希望に沿って迅速に臨機応変な対応が出来る点が非常に気に入っています。

Q 休日の過ごし方は？

A 元々は釣りが趣味で、休日は船に乗って海釣りに出かけたりしておりましたが、今はもっぱら子どもと遊んで過ごしています。子どもが釣りに興味を持ち始めているので、いつか子どもと一緒に釣りに行けたらと思っています。



Q 市民の皆さんへのメッセージ

A 脳神経外科疾患は特徴として持続する後遺症や治療の困難さがあり、現在の病状だけでなく今後の生活に対する不安を感じられる患者様やご家族が非常に多いです。疾患の治療はもちろんですが、治療後の生活に対する不安に対応していきたいと思います。今後の新たな取り組みとしては、最先端の手術支援機器を使用した安全でお体へのダメージの少ない手術治療を進めていきたいと思っています。

Q 先生はどんな人？

A 大学卒業後、大阪府で初期研修を終え、その後愛知県で働き始めました。現在藤田医科大学の救急総合内科に所属し、救急・集中治療を専攻しております。

Q 碧南市、市民病院の印象は？

A 出身が北海道のため、碧南市のことは知らなかったのですが、通勤で車を走らせているだけでも、のどかで良いところだなと感じています。まだまだ碧南市の魅力に触れられていないので、これからどんどん知っていけたらなと思っています。

Q 休日の過ごし方は？

A 料理が趣味なので、休日にまとめて買い物をして作り置きをしておくことが多いです。また大学時代からアイスホッケーをしており、愛知県にきてからは社会人チームに所属し月2・3回ほどスケートリンクに通っています。

Q 市民の皆さんへのメッセージ

A 医師の専門で救急、集中治療というと、ピンとこない人がほとんどかと思います。碧南市民病院では、救急車で搬送された患者さんや午後の時間外外来を受診された患者さんの診察と治療をさせていただきます。救急では可能な検査や治療が限られてしまいますが、他の専門科への橋渡しをする、重症になる前に、あるいは重症を見逃さず早期に治療を開始する、といったことを心がけて働いていきますので、これからどうぞよろしくをお願いします。

